

家族・お客さんへの感謝の気持ちと常に向上心を抱いている
松澤農園の松澤みどりさん

小諸市で観光農園を営んでいる松澤農園の松澤みどりさんを訪問しました。自然を大切にしたいというみどりさんの思いが詰まった木の素材を基調とした落ち着いた店内でお話を聞きました。



◇みどりさんのご出身はどちらになるんですか？

☆ここの4代続く果樹農家で、私が3代目なんだけど、この家の娘なんですよ。で、主人が来てくれて、最初は会社勤めだったんだけど、両親が60歳になった時に継いでくれて。で、今息子が25歳で後を継いでくれて4代になったんですね。父も母も健在で、横浜に大学生の長女がいます。

◇昔から、お客さんが来るような観光農園でやってらしたんですか？

☆以前、うちはトラックで栃木の足利までりんごを持って行って、その市場で販売するっていうのがやり方だったんですよ。

私が継いでから何年かして、りんごの値段が暴落した年が2～3年続いたんですね。もうこのままでは生きていけないと父が思って、それで自分たちで加工したりんごジュースを作ったんです。1リットル100円で濃縮還元のにんごジュースが販売されている中、うちは800円で売らないと採算が合わないんだけど、「やるしかない」って言って、取りあえず300本だけ作ったんですよ、販路もないのに。

近くに軽井沢があるので、まずはそこからだなんて言いながら、別荘地に行ってポスティングしたけど、何百戸入れても2件しか問合せはこなかったんですよ。

「あ～、これじゃダメだね」って言うてる時、足利までりんごを出荷する途中群馬を通るんだけど、その群馬の百貨店に置いてみたらどうだって、父の直感で。

普通そういうのって突然行って「はい、置いてください」って訳にはいかないじゃないですか。でも、父は何も考えずにそこに行って「担当者の人を呼んでくれ」って。

今でもその百貨店では、その時の父の話が出るんだけど、店を数十年やってる中で、「帽子かぶって長靴履いて、腰にタオルを垂らして営業に来たのは最初で最後、松澤さんしかないよ」って。

で、運良くその部長さんが対応してくれたおかげで取引できるようになったんです。

今百貨店2店舗なんだけど、お中元とかの清涼飲料では1位なんですよ。そこから段々お客さんが来てくれるようになって。父がいなければたぶん今の松澤農園はなかったと思いますよね。（その時は必死だったんですね。）そうですね。そうだったと思います。

◇何歳の時に継がれたんですか？

☆私ね、3人姉妹で長女なんですけど、高校卒業して大学に行ったんですよ。

入学した6月に、母が網膜剥離で東京で手術、入院したんですね。3年間はお米を研ぐと膜が下がるとか、重い物を持ちちゃいけないって言われて。その時、妹が高1と中3だったかな。で、女手がないっていうのはね大変じゃない。授業料から入学金からみんな払ったのに、2ヶ月で大学辞めて戻ってきたんです。

思い出した！18からここに入ったから、化粧しない、忘年会知らない、飲み会知らない、

他へ就職した事もないし、訳も分からず百貨店行ったりしてね。ずっと農業しかやってこなかったから知識もすごく少ないと思うんですよね。残り少ないと思ったら自分のために何かやらないとダメだあって。私、今からでも大学入りたいくらいだね。

◇お子さん達が小さい頃、仕事・家事・育児の両立で大変だったことはありますか？

☆よく「農業って自営業だから時間が自由になっていいね」なんて言われるけど、それ全然違って。今でも覚えているのが、子供が小学生の頃、毎年5月の連休に小諸の懐古園で写生大会があるんだけど、それに連れて行ってやりたいのに、りんごの花が咲き出す時期がちょうど仕事と重なって、6年間2人だと12回一度たりとも行けなくて。休みの日も「今日休みだから買い物だあ」なんて思っても、お客さんが来られたりすると「やっぱ行かない」ってなるじゃないですか。そうすると子供は「定休日作ればいいのに」って大騒ぎするんだけど、お客さんが遠くからわざわざ来てくれたのに「定休日なんて看板は出せないよ」って、こういう小さい所で個人だし。子供は犠牲にってしまったような気がします。

◇逆に良かったものはありますか？

☆両親に感謝っていうのが1番かなあ。あと、主人が継いでくれたっていうのもそうですね。あと子供に感謝。家族全員には感謝ですね。

◇ストレス発散の方法はありますか？

☆私今それが一番の課題。どうやってストレス発散する方法を探したらいいのか。寝てても仕事のこと考えてて、頭が仕事で一杯なの。娘はここの敷地から出るのがいいんじゃないかって言うんですよ。何だろう、遊びは悪と思っちゃって。なんか後ろめたいんですよ。

私が継いだ頃って、「女のくせにとか、生意気だ」とか男尊女卑のそういう時代ってあったんですよね。ジュースを作った時、ジュースの箱を作るでしょ。その時の段ボール屋さんの言葉がまだ残ってて、「100円のジュースいっぱいあるのに、販路もなくてこんなの売れねえのに。だから女がそんなことやったって」って60歳ぐらいの営業の人が言ったんですよね～、女の人がやることは何やっても駄目みたい。今女の人活躍してるけど、やっと今になって溶けつつあって、ストレスという言葉出してもいいんだって。やっと今ね。

◇アップルファイバー入りジュースについて教えてください。

☆りんごって医者いらずって言われるじゃないですか。私りんご全部が身体に良いと思ってて、だから残渣も捨ててはいけないと思うんですよ。搾った後の果肉と皮を乾燥させて粉末にしたものをジュースに戻して作ったのが、そのジュースです。ただ擦り下ろしたものを入れたジュースとかはあるけれど、日数が経つとあまりおいしくないと思ってて。

その粉末は今まで福祉施設で作ってもらってたんだけど、今そこができなくなっちゃって、他の方法で搾汁残渣を生かせる方法はないかなって考えてるところなんです。

このジュースを作ったのは、長女が小さい頃、重度のアトピーで背中から顔まで全身痒かったんですよ。病院を幾つも変えてみたけれど全然治らなくて。かわいそ過ぎちゃってね。もうどうにもならないって思ってた時に、私が風邪ひいて近くの個人医院に行ったの。その時、子供のアトピーの事とか、家でりんご作ってるなんて話をしたら、「りんご食べさせとけ」って先生が言ったんですよね。もう何やっても駄目だったので、医者の言う通りりんごを食べさせていたら、病気の子ってやっぱ身体が欲するんだね。一番娘が食べて

てたね。りんごがある時はりんごを食べさせて、7月や8月のりんごがない時はジュースにして飲ませたり。それを続けていたら治っちゃったんだよね、これが。真夜中に2回も3回もお風呂に入れたりとかしてたのに。そんなことがあって、皮とか果肉も捨てるのはいけない、なるべくりんご全部を使えるようにと思って。

そういう苦労があったから病気の子とか障害のある方には、私結構敏感なんです。以前、娘と手話も習ってたんです。耳が聞こえないお客さんとか来ると手話をしますよ。仲良くなりたいんです。りんごジュースのラベルを施設の方に貼ってもらったりもしています。(色々やってますね) 私の夢は、福祉の人たちと共同でオリンピックに携わりたいんです。

◇学生の頃、はまっていたことは何かありますか？

☆私細かいものを作る事が好きなんです。家に「姫りんご」がすごくなるんです。お客さんでリース作る人がいて、この姫りんごで可愛いリース作ったらいいんじゃない？って提案があって、そこからリース作ったり、木の実とかも取ってきて作ったりしてます。そしたら又、ネイルの得意なお客さんがいて、それを冠にしてみたり。松ぼっくりにネイルを塗るとキラキラするんですよ！そんなことを長年遊びでやってたら、国の農業女子の担当の方から、農業女子の式典の際に、受賞者に送るティアラを頼まれたこともあるんですよ！

何気なくやってきたことが仕事に結びついてるって感じです。壁に飾るスワックや、クリスマスのオブジェを作るワークショップを日本橋三越さんでもやらせて頂きました。

お客さんとの出会いから全て成り立ってることなんですよ。利益にはならないけど、そこから生まれるものはあるんじゃないかなと思います。ほんとに人に感謝です。

◇今後新たに始めたいことはありますか？

☆色々やってきたから、息子からは新しい事はもうやらなくてもいいんじゃないの～とか言われます。ただ毎年、一歩でいいから前に出ようとは思っていて、今あるりんごをもうちょっと美味しくしたり、今ある物を一歩でも良くしたいとかは、常に考えています。

息子が継いだから新しいことは息子が考えていけばいいと思っています。私は100%息子を信頼して尊敬してるんですよ。就農は短いんだけど私よりも何百倍も色々なことを知ってて、作物のことだけでなく営業力や販売力も。接客は完璧だと思う。百貨店のイベントでの営業も、何だろう全部出来ちゃうんだよね。息子に会いたくて来るお客さんもどんどん増えてきて、跡取りがいるだけで取引しようといってくれる企業さんもいて息子には感謝です。

◇誰に対しても感謝の言葉を口に出すみどりさん。なかなか「感謝」って言えないですよ。特に家族に対しては。それだけ、松澤家のみなさんが支え合って生活しているからこそじゃないかと思います。

若い時から苦労されてきたみどりさん。色んな苦労があったことを少しも感じさせない明るさに、みどりさんの人柄が表れていました。4代目の息子さんを心から信頼している母の顔は、とても穏やかに見えました。



マッキーがおじゃまします！

関東農政局長野県拠点